

運営推進会議記録

開催日時	平成 27 年 12 月 17 日 (木) 15 時 00 分 ~ 16 時 00 分	場 所	〒553-0004 大阪市福島区玉川 1 丁目 8-10 UG ビル 3F
参加者	クリニック院長 1 名、地域包括支援センター 2 名、居宅介護支援事業所 1 名、グッドライフケア 24 管理者 1 名、グッドライフケア 24 大阪オペレーター 1 名、グッドライフケア訪問介護大阪福島 1 名、グッドライフケア居宅介護支援センター大阪福島 1 名、グッドライフケア訪問看護ステーション大阪看護師 2 名、理学療法士 1 名 計 11 名		
<p>○定期巡回・随時対応型訪問介護看護について説明を行なう。 ○6 月～11 月現在の利用者数等の報告を行う。 ○北区、福島区での弊社の実施状況 ○事例 1 例の報告</p>			
<p>活動内容等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島区で一時的に一名増えたものの 11 月末現在では北区、福島区ともに利用者数の増減はない。(北区 2 名、福島区 2 名) ・コールが多発する利用者も、介助が必要な時間に定期訪問の時間を変更したり臨機応変に対応していくことでコールの回数を減らせている。 ・事例 1 件 (当日配布の別紙) 			
<p>要望・助言内容</p> <p>Q 夜間のスタッフの教育などはどのようにしているのか？ A 現在、正社員 3 名でシフト制で対応しており、社内で定期的に研修を行なうなどしている。</p> <p>Q 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを利用する場合はどのようなご利用様が適応になるか？ A このサービスの特徴として、短時間でのサービスが可能である。そのため退院直後の生活リズムをつけた方や認知症などで定期的な服薬を忘れてしまう方など。僅かな時間でも訪問して関われる事が自立支援に向けて効果的であるという報告が挙がっています。</p> <p>Q 夜間の対応についてはどのようにしているのですか？ A オペレーターが 24 時間対応出来るようにしている。また、予備の携帯電話も準備しており万が一オペレーターが対応出来ない場合についても誰も出ないという事がないように対応している。</p> <p>医師より 事例に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で亡くなる方に対して医師や在宅でサービスを行なうスタッフがしっかりと連携を取れる事が重要になる。また、その地域においてどのような役割を果たしてこられたかなど社会的背景も含めてサービス事業所が理解をすることでより良いサービスや連携に繋がっていくと考える。 サービス事業所においては上記の事を念頭においてしっかりと他職種での連携を図れるようにリーダーシップを発揮することがこのサービスにおいて重要ではないかと考える。そのため状態が変化した際に担当者会議などの行い意思確認を行なうなどしていく必要がある。 			
事業所名	グッドライフケア 24 大阪	記録作成者	平成 27 年 12 月 17 日 田邊 聡史

※ 原則として会議開催後 2 ヶ月以内にこの記録を作成・公表すること